

# 医師が教える「美・健康ナビ」

医師による美と健康に役立つ  
アトバイス「美・健康ナビ」を毎月  
1回、シリーズで連載しています。

## 第44回 眼瞼下垂症

症状や予算で選べる治療法  
「早めに医師に相談を」

「眼瞼下垂」とは、まぶたを持ち上げる筋肉（眼瞼挙筋）が弱まり、目が十分に開かなくなる状態のことです。先天性の場合もあります。多くは加齢で起こります。

眼瞼下垂になると、視界が狭くなることで目が疲れやすくなり、頭痛や肩こり、自律神経失調症などを引き起こします。また、眠そうに見える、額の筋肉でまぶたを上げてしまうので額に深いしわが入り、見た目の印象の変化に悩む人も多くおられます。

治療は、上まぶたを切開して眼瞼挙筋を固定する手術が多く採用されます。術後は腫れがあり、回復には時間が必要です。早めに症状や費用、スケジュールなどを専門医に相談し、ゆとりをもって治療に取り組んでください。健康保険適用外の自由診療では、まぶたを切らない方法もあり、選択肢は広がっています。

コンタクトレンズや二重まぶたを作るための接着剤、花粉症やアトピーなどで目をこすることが原因になる場合もあります。眼鏡を使うなど、日常生活でまぶたに負担をかけないように心がけましょう。



木下 孝昭先生

医療法人社団 孝昭クリニック院長  
医学博士